

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
16	本宮高等学校	全日制

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募 集 定員枠	志願してほしい生徒像
普通科	50% 程度	<p>本校は、普通科及び情報会計科の2学科において、「自らの人生を切り拓く力とよりよい社会を創る力を持った人間の育成」を目標とし、生徒一人ひとりの能力を伸ばしながら、地域を支える人材を育成する教育を行っている。</p> <p>本校の特色選抜では、学科の特性を十分理解したうえで、目標の実現に向けて多様な他者と協働しながら、果敢に挑戦する意志を持った生徒を求めていることから、以下のA型及びB型の出願区分を設ける。</p> <p>A型（スポーツ・文化活動型）</p> <p>部活動を通して、心身を鍛え自分の能力を伸ばし、目標の実現を目指すことができる次の①及び②に該当する者。</p> <p>① 中学校時代のスポーツ・文化活動において積極的に取り組んだ経験があり、今後取り組もうとする種目の基礎・基本的な能力や資質を有する者。</p> <p>② 学習との両立を図りながら、3年間部活動を継続する強い意志を持つ者。</p>
情報会計科	50% 程度	<p>B型（未来チャレンジ型）</p> <p>A型の部活動種目以外の校内外での様々な活動を通して、心身を鍛え自分の能力を伸ばし、目標の実現を目指す強い意志を持つ次の①及び②に該当する者。</p> <p>① 高校在学中に積極的に取り組みたい活動について、なぜそれに取り組みたいのか、今後どのようにして目標を実現するかなどについてプレゼンテーションできる者。</p> <p>② 学習との両立を図りながら、その活動を継続する強い意志を持ち、他者と協働しながら本校の活性化に貢献でき、活動の経過と成果を明らかにできる者。</p>

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
16	本宮高等学校	全日制

(特色選抜)

選 抜 資 料 (各科共通)						
学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備考
5教科とする。 250点満点とする。	本校及び当該学科への志望動機、将来についての考え、高校生活で特に取り組みたい活動、自己PR等について本人が記入する。	「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、 音楽、美術、保健体育、技術・家庭の教科の評定を3倍 することとし、255点満点とする。「特別活動等の記録」と「長所・特技等の記録」は95点満点として、合計 350点満点 とする。	集団面接を実施し、本校で学ぶ意欲や適性を見る。 面接については点数化し、100点満点とする。	A型(スポーツ・文化活動型)で志願する者に対し、実技を実施する。 実技については、当該活動に必要な基礎的・基本的な技能や能力及び資質を見る。 実技については、点数化し300点満点とする。 B型(未来チャレンジ型)で志願する者に対し、プレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについては、高校在学中に積極的に取り組みたい校内外の活動についての目的や目標、計画から、資質を見る。 プレゼンテーションについては、点数化し300点満点とする。	全体の満点は、1000点とする。	

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
普通科	(80)	5教科とする。 250点満点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。	集団面接を実施する。 ただし、特色選抜と併願の場合は、特色面接の結果を採用する。 面接は段階評価とする。	同等とする。	
情報会計科	(40)					

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
16	本宮高等学校	全日制

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
普通科 情報会計科	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。	個人面接を実施する。 面接については、段階評価とする。	作文を実施する。 あるテーマについて、600字以内で、自分の思いや感想を述べる作文とする。 作文については、段階評価とする。	